

NRU 国労せんだい

NO. 2523
2008年6月12日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

〇八春闘中間総括から

五月一〇日に開催された〇八春闘総括会議の概要は前号にて報告したが、今回は各支部や分会の具体的な取り組みについて報告する。

支部分会より報告

〇福島県支部

山田書記次長



〇〇八春闘総括。二月九日に支部春闘討論集會に三四名参加。四月八日には四分會交流會を開催し、全体で約四〇名参加。春闘では一人一要求を集約し、現場での交渉を目標に取組みを行った。実際に進んだ所、継続中の所あり。

◆今後の取組みとして、現場で解決できなかった問題は地本に上げて団交で解決を図るよう、五月には全分会が団交を実施できるように業務部と連携を取る。また総括を深めるために、六月七日に全分会・全班総決起集會を開催し、支部総括を行う予定である。

◆組織拡大に向けた取組み。福島駅に新規採用者が配属。会社へ組合説明

〇宮城県支部

秋山執行委員長



〇〇八春闘総括。学習と交流を支部方針に、三月に支部委員會を開催。学習會として全通の仲間を講師に迎え、郵政職場の現在に至るまでの経過と現状報告を受けた。

◆交流として、仙台分連協を中心し、北部現業交流會を継続中。二月の交流会では職場環境改善を中心に共通の要求を集約し、建築分会では職場要求に追加。

◆国労東北と仙台総行動

れるようになってきた。設備関係職場等、他系統にも拡大したい。

〇仙総支部

原子書記長



◆春闘は二つの柱。一つは分会運動の

の二つの集會には支部で六割の動員。各分会役員と支部役員との努力の結果。

◆一人一要求から現場長申し入れに向けて議論を展開してきた。現場長申し入れ、話し合いは九分会(仙台駅、仙台保線区、建築区、信通区、仙台・宮城野運輸区・貨物宮城・小牛田運輸区・小牛田保線区・東工所)。

◆一月末に仙台・宮城野運輸区で脱退者。これを踏まえて二月、四月に組織強化・拡大行動委員會を開催。身近にいる仲間を一人にしないで皆で声掛けをして纏まりを作ることが大事。また新規採用者対策では郡山駅連など他の分会から取組みを学び実施(仙台電力、建築では呼びかけのチラシを作成し手渡し)。

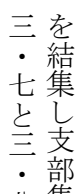
◆残念ながら加入に至らず他労組へ。なお他労組は寮での加入手続きを指示されていた模様。

◆もう一つの課題は分会間交流。営業職場では春闘期など定期的に開催さ

交渉は職場にない」という態度。結果は四分會全(六科中五科)が科長と話をもち「検討する」など進展も。

〇郡工支部

橋本執行委員長



◆拡大執行委員

◆もう一つの柱は大衆行動。三月六日に一〇五名を結集し支部集會を開催。三・七と三・八へ向けた意思統一。三・七は四二名の参加。集會終了後の三工場交流会は全体で四六名が参加、職場実態を報告し、交流と懇親を深めた。三・八には七五名が参加し総括では多くの意見が出された。内容が問われており、準備會に反映したい。

◆今春闘の大きな成果は会社の施設利用。三月九日に総務科の大会議室で車体分会の集會。前段には地本書記長が総務科へ挨拶、総務科長と名刺交換。今後は意見交換まで繋げたい。

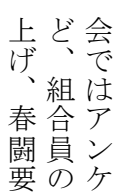
◆機関紙活動の活性化。春闘期に集中して発行を。組織拡大の具体的なリストアップも含め組対會議を継続。四月には総務科に対し、新入社員組合加入は「公平・公正」な扱いを求めてきた。

◆アスベストと東日本本部で作成のチラシを他労組へ手渡し。本部作成の四・二五の安全問題のチラシを利府地区に配布。

体的な取り組みの議論。支部として総務科へ「正常な労使関係を求める要請書」を作成し要請を行った。分会でも車体分会は組集會を開催、装置科分会ではアンケート調査など、組合員の要求を吸い上げ、春闘要求と職場要求を現場長へ要請。

〇郡山駅連合

千葉執行委員



◆春日間さんが三月二一日、五三才で他界。子供の関係で奥様も働けない状況。遺族支援の取組みを行うが、協力をお願いしたい。

◆職場集會を年代別(五五才と六〇才は一月二三日という設定で五世代に分別し一月末に五日間)で開催。多く出された問題は五五才と五七才の賃金カット。貨物では五五才から三割カット、成果主義賃金は問題、車両所の移転は不安、エルダー社員問題等。多くの組合員の声を聞いたのは成果。◆集會・大衆行動。二月十二日に春闘討論會(支部執行部と分会長)、三月一四日に配転者交流会、三月二八日、春闘総括集會(貨物)、四月一八日、郡山・若松両派出との交流、四月二三日、安全問題チラシ配布、三・七と三・八各集會へは五割参加。貨物ベアゼロ・安全問題検証集會。

◆機関紙活動。今年に入り現在(5/7)まで九五才一・二号発行。

◆佐久間さんが三月二一日、五三才で他界。子供の関係で奥様も働けない状況。遺族支援の取組みを行うが、協力をお願いしたい。

◆本日運輸区班は郡山運輸区(会社施設)で交流会を開催している。

〇郡山信通技セ

堀口執行委員長



◆郡山分連協の五分會が要求の申し入れをし、受取りはないが話し合いはした。後の幹事会で総括。春闘の取り組みと組織拡大では先行する郡山駅連に見習って取組む事を提起。

◆春闘要求一四七項目。即改善のものもあり、対立・平行線は団交へ。

◆新採獲得の取り組み。役員名刺(顔写真入り)を作成し、駅長を含めた歓迎會を企画したが、結果は二二日全て他労組へ。寮で歓迎會と加入をさせていた模様だが、組合幹部しか把握していない。

◆郡山駅連という、広く職種が多い分会は役員が大変な苦労。物販一日で一五〇km走る。細分化した分会、例えば運輸区と分けるとか検討しなければ。若い人との関わりも、また駅から車掌に行つた場合、継続した関わりが困難。それぞれのポジションで拡大運動を重ねていく事が大切では。分会の再度の再編を要請する。

申し入れ。一人一要求をアンケート調査し三回の執行委員会を経て集約し提出。受け取りはないが、所長と総務が対応し、約一時間程度一項目ずつ話をした。

◆組織拡大の取り組み。職場は四割が二〇代〜三〇代の若者。今年偶然話をする機会を得、国労の話ができた。入社時期だけでなく、通年、ほとんど国労のアピールをしながら関わりを持ちたい。他労組は今年の新採に對し、寮で歓迎会を開催している。組合に加入してからの歓迎会か、加入させるためのかは不明。

◆組合旗掲揚、諸要求署名行動(三〇名の組合員で一〇〇名分の社員署名を集約)、現場長申し入れは三月二十四日に仙台保全センター、四月に入ってから仙台総鉄部に申し入れ。三・七と三八は二九名参加で九七%。しかし結果は三月二二日にベアゼロ回答。組合員からは「またか・・・」「分会として全体で取り組むことが大切」「ベアゼロで報告集会はない。抗議集会とすべき」等の意見。夏季手当については分会で意思統一して「ストライキ」で闘いたいとの意見が多く出された。

◆組織拡大の取り組み。東北支社四五名採用。研修終了日の四月三〇日に加入用紙などのチラシを配ろうとしたが、会場を移され空振り。今後いつどこで加入したか等の確認をしていく。

○貨物宮城

内田執行委員



◆四月二三日の執行委員会において

○八春闘の中間総括。○八春闘は二月一九日の全体集會(宮城野駅会議室借用一・二名参加)から始まり以下の確認をしてきた。分会の集中取り組み期間を三月一〇日から一四日とし中心はベースアップと分会長申し入れ。他に本社・支社FAX行動、はがき・ジャンボはがき行動、社宅チラシ配布、宮城野駅・仙台総鉄

程で文書をコピー。組合の機関名は入っておらず、三役の氏名で提出だが初めてのことであり、しつかりと話を聞いてもらった。

◆会社内の講習室を借り、初めて集会をした。寒い時期でもあり暖房の関係などで参加率は非常に良かった。

◆早坂純一君の退職。サツカーのコーチをしたいという夢。残念だが本人の人生ということ。

◆組織拡大の取り組み。東北支社四五名採用。研修終了日の四月三〇日に加入用紙などのチラシを配ろうとしたが、会場を移され空振り。今後いつどこで加入したか等の確認をしていく。

◆組合旗掲揚、諸要求署名行動(三〇名の組合員で一〇〇名分の社員署名を集約)、現場長申し入れは三月二十四日に仙台保全センター、四月に入ってから仙台総鉄部に申し入れ。三・七と三八は二九名参加で九七%。しかし結果は三月二二日にベアゼロ回答。組合員からは「またか・・・」「分会として全体で取り組むことが大切」「ベアゼロで報告集会はない。抗議集会とすべき」等の意見。夏季手当については分会で意思統一して「ストライキ」で闘いたいとの意見が多く出された。

○郡山駅連合

佐藤執行委員長



◆貨物の和解に付随する問題。昨年八月に貨物福島分会の滝田さんに対し郡山から五〇〇kmも離れた青森への強制配転が行われた。和解協議の最中であり、納得がいけないという組合員の声。地方本部と本部に対して仲間を戻す運動をしつかりと取り組むことを要請する。

○小牛田運輸区

佐藤執行委員長

◆現場長との話し合いの過程で文書をコピー。組合の機関名は入っておらず、三役の氏名で提出だが初めてのことであり、しつかりと話を聞いてもらった。

◆現場長との話し合いの過程で文書をコピー。組合の機関名は入っておらず、三役の氏名で提出だが初めてのことであり、しつかりと話を聞いてもらった。

い。要員が足りないためだが、助役等の対応を求める。冬期対策(二週間延長になったが一部の駅ではその理由が明らかにされず。)

◆春闘の取り組み。三・七は一〇名、三・八は一四名で五割強の参加。要請行動は四班で申し入れを意思統一。駅班では改札レジスターの問題で四月二二日に申し入れ。職場改善要求等はこれから。運輸区班では三月に提出したが、受け取り拒否。電気班では、福島はメセのため技セに上げ話をしたと聞いている。

◆春闘の取り組み。三・七は一〇名、三・八は一四名で五割強の参加。要請行動は四班で申し入れを意思統一。駅班では改札レジスターの問題で四月二二日に申し入れ。職場改善要求等はこれから。運輸区班では三月に提出したが、受け取り拒否。電気班では、福島はメセのため技セに上げ話をしたと聞いている。

◆春闘の取り組み。三・七は一〇名、三・八は一四名で五割強の参加。要請行動は四班で申し入れを意思統一。駅班では改札レジスターの問題で四月二二日に申し入れ。職場改善要求等はこれから。運輸区班では三月に提出したが、受け取り拒否。電気班では、福島はメセのため技セに上げ話をしたと聞いている。

◆春闘の取り組み。三・七は一〇名、三・八は一四名で五割強の参加。要請行動は四班で申し入れを意思統一。駅班では改札レジスターの問題で四月二二日に申し入れ。職場改善要求等はこれから。運輸区班では三月に提出したが、受け取り拒否。電気班では、福島はメセのため技セに上げ話をしたと聞いている。

○福島地区

星執行委員長

◆春闘の取り組み。三・七は一〇名、三・八は一四名で五割強の参加。要請行動は四班で申し入れを意思統一。駅班では改札レジスターの問題で四月二二日に申し入れ。職場改善要求等はこれから。運輸区班では三月に提出したが、受け取り拒否。電気班では、福島はメセのため技セに上げ話をしたと聞いている。

◆春闘の取り組み。三・七は一〇名、三・八は一四名で五割強の参加。要請行動は四班で申し入れを意思統一。駅班では改札レジスターの問題で四月二二日に申し入れ。職場改善要求等はこれから。運輸区班では三月に提出したが、受け取り拒否。電気班では、福島はメセのため技セに上げ話をしたと聞いている。

約)の取り組み。三・七と三・八は二一名参加で八五%が結集。三・七終了後、東北貨物の交流会が開催されたが、東北の仲間からは「ストライキで闘うべき」の声。また三月二二日のベアゼロ回答に對して「報告集会」でなく抗議だろろうという職場の意見。和解の関係でそうした背景があるが、その最中で滝田さんが青森へ。会社は要員不足を主張したが、要員は足りている。早期に郡山へ戻すよう強く要請する。

◆山形県支部 原田執行委員長

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

○仙台駅連

木藤副執行委員長

◆事情があり大変疲れているが、一言だけ。組織拡大の取り組み。食事を等々行っている。国労は仕事を良く知っているし話を聞き易いという声。四月二二日、岩沼寮で他労組役員が「一企業一組合」と主張し加入を迫ったという情報。仙台駅分会は新採の獲得に向け粘り強く取り組む。

◆事情があり大変疲れているが、一言だけ。組織拡大の取り組み。食事を等々行っている。国労は仕事を良く知っているし話を聞き易いという声。四月二二日、岩沼寮で他労組役員が「一企業一組合」と主張し加入を迫ったという情報。仙台駅分会は新採の獲得に向け粘り強く取り組む。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

◆春闘。三・七と三・八は目標に届かなかった。職場集会を開催した箇所は新庄と山形保技セ。新庄は初めての会社施設での集会。地本書記長が職場へ挨拶。山形は休憩室で集会を開催し、職場要求をまとめ三月三一日、所長へ提出するも「科長を通して」となり、科長経由となったが提出に留まっている。

○貨物福島

橋本書記長

◆春闘。三月一日現場長交渉を実施。現場長は真剣に話を聞き、過去何度か職場改善を実施。本社への賃上げ要請FAX送付や春闘要求署名(一三名の組合員で二四名分の社員署名を集約)の取り組み。三・七と三・八は二一名参加で八五%が結集。三・七終了後、東北貨物の交流会が開催されたが、東北の仲間からは「ストライキで闘うべき」の声。また三月二二日のベアゼロ回答に對して「報告集会」でなく抗議だろろうという職場の意見。和解の関係でそうした背景があるが、その最中で滝田さんが青森へ。会社は要員不足を主張したが、要員は足りている。早期に郡山へ戻すよう強く要請する。

◆春闘。三月一日現場長交渉を実施。現場長は真剣に話を聞き、過去何度か職場改善を実施。本社への賃上げ要請FAX送付や春闘要求署名(一三名の組合員で二四名分の社員署名を集約)の取り組み。三・七と三・八は二一名参加で八五%が結集。三・七終了後、東北貨物の交流会が開催されたが、東北の仲間からは「ストライキで闘うべき」の声。また三月二二日のベアゼロ回答に對して「報告集会」でなく抗議だろろうという職場の意見。和解の関係でそうした背景があるが、その最中で滝田さんが青森へ。会社は要員不足を主張したが、要員は足りている。早期に郡山へ戻すよう強く要請する。

本部より答弁など

◆他労組の組織加入の行動に際し、不法・不当性がなければチェックをしてもらいたい。

◆貨物のストライキについては戦術委員会という民主的なルールがあるのでそちらに判断してもらいたい。

◆滝田さんの件。人事は本社が支社に對し属人を異動させる権限はない。我々に出来る事は和解の趣旨を現場段階まで周知徹底させること。それを受け東北支社の中でどのようなやり取りが行われるかということ。

◆組織が広すぎるという話。大会等で機関のあり方等で議論してきた経過あり。新採が郡山駅連に毎年一〇名加入、ということであれば検討もあるが、逆に減っている状況で細分化は議論に至らない。今後組織の括りとあり方はその時々で一番良い形に変更したい。

◆滝田さんの話。東北協議会の窓口で滝田さんの扱いについて議論してきた。詳細にはタイミング的に和解の席に載らないで来た経過がある。冬期が終了後戻すという含みの話があり、それならば和解の席には載せないとしてきた。結果的には会社のあるポジションの人間の考えであって、支社

◆滝田さんの話。東北協議会の窓口で滝田さんの扱いについて議論してきた。詳細にはタイミング的に和解の席に載らないで来た経過がある。冬期が終了後戻すという含みの話があり、それならば和解の席には載せないとしてきた。結果的には会社のあるポジションの人間の考えであって、支社

全体の考えでなかったということ。支社が青森に異動させた要因もあり、そうですか、という状況にないと言われている。しかし五〇〇km離れた箇所への単身赴任であり、貨物協議会と共に戻す取組みを行っていく。

◆春闘の取り組みと組織拡大という二つの柱に絞って皆さんに報告を頂いた。その報告を聞いて感じ取ってもらった通り。一つは職場で自分達の具体的な要求を改善しようという取り組みが作られてきているということ。分会としてどう組合員の要求を前進させるのかと取り組むべき結果。今日報告した分会、そこまで至っていない分会も、「みんなやっているのだ」と自信を持って取り組みを行ってもらえれば、今春闘の成果でないか。状況と情報を全体が共有化することが大切。

◆組織拡大の取り組み。汗をかいた人は今回の結果は間違いない。足と手を使ったことがまた一歩前進となった。これをどう次の力にするか。本日の会議に様々なヒントがあったと思うが全体に返す役割を地本が行っていく。

◆課題を提起させてもらったが、その一つ一つを機関に持ち帰り、現在行われている運動と合わせて進めたい。

◆編集部よりお詫び。紙面スペースの関係上、発言した一部の方の写真を掲載出来ませんでした。心よりお詫び申し上げます。

◆編集部よりお詫び。紙面スペースの関係上、発言した一部の方の写真を掲載出来ませんでした。心よりお詫び申し上げます。

◆編集部よりお詫び。紙面スペースの関係上、発言した一部の方の写真を掲載出来ませんでした。心よりお詫び申し上げます。